

国際交流学生委員会「The Supporters」について

政治経済学部では、学部の国際交流をさらに充実させ、学生主体の国際交流活動を促進させることを目的として、2022年度に従来の「留学生サポーター」制度を発展させた国際交流学生委員会「The Supporters」を新たに立ち上げました。「The Supporters」は、政治経済学部で学ぶ留学生のサポートや、学部が実施する各種国際交流イベントの企画運営等を学生自ら主体的に行う団体です。「留学前に異文化交流を体験したい」「留学生を支援しながら語学力を磨きたい」「異文化を有する人々との交流や共働を通してグローバル社会で生きることを学びたい」学生は、是非ご参加ください。



応募期限

4月中旬を予定

ガイダンス資料

<https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/indexatmeiji.html>


卒業生紹介

政治経済学部の各種国際プログラムを経験し、世界の第一線で活躍する卒業生に、その魅力を聞きました。



佐藤 恵理子 さん 2015年 政治学科卒業 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

以前からの海外生活への憧れと、国際社会で存在感を増す中国の姿を現地に行ってみてみたいと思い留学を決めました。留学生活では、授業で行った領土問題をテーマにした討論会が印象に残っています。当初は、留学生が私一人の中、語学力の問題や重いテーマであることからとても不安でしたが、事前にチームメイトに勉強会を企画して交流を図ったり、思い切って自分の意見を言うことで議論を深めることができました。このチームメイトは今でも連絡を取る友人になりましたし、自分にとっても困難に立ち向かえたこと、皆でひとつのものを作り上げたという大きな達成感を味わったことを覚えています。

社会人になった今でも、留学中に異なる言語、価値観の中で体当たりをしながら生活した経験は自分にとって大きな財産であり、仕事で壁にぶつかっても、自分なら乗り越えられるという大きな自信に繋がっていると感じています。

海外のトップレベルの大学に複数回、金銭的な負担が少なく留学したいと思い、本学部に進学しました。在学中はアメリカのハーバード大学、UCバークレー、フランスのリヨン政治学院、タイのチュラロンコン大学に計4回、奨学金をいただきながら留学することができ、世界中から集まる同世代の学生の考えや価値観に直接触れることで、キャリア選択や生き方に強い影響を受けました。留学先では大学での勉強に加え、現地企業でのインターンも行い、特にアフリカのルワンダでのインターン経験から、新興国のスタートアップから生まれる新しい技術やアイデアと日本の産業を繋げることで、新しい事業の創出に寄与したいと思い、幅広い事業の現場を持つ現在の会社を志望するきっかけになりました。現在、世界中のスタートアップへの投資と事業開発を担う部署に所属し、様々な事業分野のスタートアップの方々とディスカッションを通じた刺激的な日々を送っています。



藤牧 友 さん 2020年 地域行政学科卒業 住友商事株式会社

明治大学 政治経済学部事務室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL | 03-3296-4173 URL | <https://www.meiji.ac.jp/seikei/>



政治経済学部がわかる
9つのポイントを公開中



URL | <https://www.meiji.ac.jp/stepinto/seikei/>



GLOBAL CAREER DEVELOPMENT PROGRAM

グローバルキャリア形成(GCD)プログラム



GO!
GLOBAL!
2022年度 START!

世界で通用する力をつけるプログラム

2022年度以降の入学者を対象に、参加希望者の中から一定の基準を満たす学生を毎年50名程度(※2年次の募集を含む)選抜してプログラム参加者とし、所属学科それぞれのカリキュラムに応じた科目を自由に履修しながらグローバル社会で通用する実践的語学力・コミュニケーション能力に加え、国際社会に関する基礎知識を習得。

柔軟な思考力・洞察力および優れた問題解決力を持ち、世界を舞台に最前線で活躍できる人材を育成します。

1 就業力育成総合講座

海外で活躍する外務省やJICAなどの援助機関、開発コンサルタント、建設会社、商社などの職員・社員を招へい。貴重な体験談から国際的な場で就業・研究する際の留意点などを学べる講座です。また、日本で活躍する外交官や国際機関職員からも様々な情報を得て、今後の進路につなげます。海外での活躍を想定し、その実現に向けた課題を整理して自ら取り組めるようになることを目標にしています。

2 ACE [英語実践力特別強化プログラム]

グローバル社会で通用する、コミュニケーション能力の強化
ACE Academic Trainingの授業を必修とし、グローバル社会で通用する高度な実践的語学力を習得。読む力、書く力を含む総合力の強化を図り、国際社会における諸問題について、リサーチやプレゼンテーション、ディベートを行っていくことで、相手の議論を正確に理解するとともに、調べる力、考える力、自身の考えを的確に伝える力を養います。

3 トップスクールセミナー

本学部では、世界各国の「トップスクール」から教員・研究者を招へいし、政治学・経済学・社会学・行政学・歴史学といった専門分野の講義を英語で実施。日本にいながら、特別な費用をかけずに世界基準の授業を体験でき、英語力を磨くだけでなく、専門分野に対する興味や視野が広がります。留学に向けた「留学疑似体験」、留学後のステップアップにも活用できます。

4 2-4年次 留学・海外インターンシップ

2-4年次
留学・海外
インターン
シップ



1年次
自身のキャリアを考え
基礎英語力を強化

1
就業力育成
総合講座

2
ACE

3
トップスクール
セミナー

参加基準

1年次

参加希望者の中から、入学時に行われるTOEICのスコアが高い順から30名選抜します。それに加えて、右図の語学基準のうちいずれかを満たす場合、希望により参加できます。

2年次

右図の語学基準を満たし、かつGPAが3.0以上である場合、参加できます。

言語	基準	
英語	1年次 TOEFLiBT 68 IELTS6.0以上	2年次 TOEIC750 TOEFLiBT 83 IELTS6.0以上
ドイツ語	Goethe-InstitutでGoethe-ZertifikatB1以上の級において総合点6割以上	
フランス語	DELFDALFでDELF B1以上の級において合格	
中国語	HSKで筆記試験3級以上の級において総合点6割以上、および口頭試験中級以上の級において6割以上	
スペイン語	DELEでB1級以上の級において合格	

5 英語を用いた教養・専門科目の学習

日本語だけでなく、英語で展開される教養・専門科目を受講することで、的確な語彙を習得するとともに、専門知識や概念に関する理解を深め、グローバル社会の幅広い分野で即戦力となる学生を育てます。



「世界を舞台に活躍する人材へ」卒業後のキャリアイメージ

- 国内・海外グローバルビジネス
- 外務省・国際機関職員
- 特定非営利活動法人(NPO)
- 国際協力機構(JICA)など
- 海外の大学、日本・海外の大学院での研究



5
国内で「英語で学ぶ」を実践



3-4年次
国内で専門的学習

4 学内最多の14カ国・地域、42の留学プログラム

明治大学は、留学できる協定校数が41カ国・地域、191大学・学部(2022年2月現在)あります。それに加えて本学部は、学部間協定に基づく留学プログラム数が明治大学の全10学部で最多の42通りあり、英国のLSEやシンガポールの南洋理工大学など世界トップレベルの大学に留学ができます。プログラム数は、「2022年2月時点」です。



14
カ国・地域

MESSAGE

「なりたい自分」「目指したい夢」に向けて
努力を開始することが、「夢」の実現への第一歩です。

皆さんは、10年後の自分を想像できますか? グローバルに活躍? といっても、その具体的なイメージはありますか? 就職活動の時期が来たら考えるからまだ早い? —いいえ、「なりたい自分」「目指したい夢」があるのなら、その実現に向けて努力を開始することが、「夢」の実現への第一歩です。個人的思い出話で恐縮ですが、昔、私は、平安朝女流文学を学ぶために大学に進学したつもりでした。しかし入学後、「国際協力」という夢に遭遇し、その夢を追って途上国の社会や経済発展について勉強を始めました。大学の内外で様々な学びと体験を重ね、幸い、望んだ仕事に就くことができました。充実した学生生活でした。GCDプログラムは、皆さんに様々な機会と考える「場」を与え、グローバル人材としての夢の実現に向け、意義深い学習と経験を提供します。さあ、自分の「将来」を考えましょう。そしてそれに向けて努力を重ねる。充実した学生生活を送りましょう。そんな皆さんのお手伝いできれば幸いです。



堀金 由美 専任教授

< 経歴 >
大学卒業後、国際協力事業団(JICA、現国際協力機構)勤務を経て、ケンブリッジ大学修士(開発の社会政治学)、Ph.D(政治学)

支援金

2年次終了時点において、GCDプログラム科目を9単位以上(1~2年次に1学期以上留学する場合は、4単位以上) 修得見込である学生は、支援金を申請することができます。申請者のなかから選抜して10名程度に、海外留学・海外ボランティアへの参加・インターンシップへの参加など、さらなる飛躍を支援するための支援金を1人10万円程度給付します。



修了要件

修了要件を満たした学生に対して修了証を授与します。以下のとおり、修了要件Aを満たした場合は「GCD優秀修了証」、修了要件Bを満たした場合は「GCD修了証」を授与し、GCD優秀修了証を受賞者は、政治経済学部学生顕彰表彰の対象とします。

プログラムの修了要件を満たした学生に修了証を授与

修了要件 A 以下の4点を満たすこと

- TOEIC 930、TOEFL iBT 105、IELTS 7.0のいずれかを満たすこと
- GPAスコア 3.0以上
- プログラム科目を34単位以上修得していること
- 認定校・協定校等への留学(短期以上)または国際ボランティアなど、GCDプログラム運営委員会(仮称)の認めるその他の国際交流活動への参加

※ダブルディグリー・デュアルディグリーは、学内選考を通過し、留学先からの受け入れ許可を取得した時点で「参加」とみなします。

修了要件 B 以下の3点を満たすこと

- TOEIC 835、TOEFL iBT 95、IELTS 6.5のいずれかを満たすこと
- GPAスコア 3.0以上
- プログラム科目を34単位以上修得していること



GCDプログラム科目と修了に必要な単位数

科目	修了要件単位数
外国語科目 ★ACE Academic Training ★ACE Presentation Skills ACE Content-based Study, ACE General Communication Skills, ACE Exam Skills, ACE Multimedia Independent Study <small>※1 ACE Academic Trainingの単位を2単位以上修得すること ※2 ACE Presentation Skillsの単位を1単位以上修得すること ※3 すべて、SまたはAの評価で修得すること</small>	6単位
ドイツ語IV、フランス語IV、中国語IV、スペイン語IV	2単位
外国語実施科目 英語による講義科目(国際教育プログラム科目・大学院科目も含む) Top School Seminar科目、外国語で実施されている教養演習 <small>※1 教養演習は4単位まで</small>	8単位
国際関係科目 留学による認定科目、グローバル人材育成プログラム科目、海外留学演習、 国際政治系および国際経済系パッケージ科目、国際地域・文化論コース科目、その他教授会で認定した科目	18単位
合計	34単位

グローバルキャリアを考え準備する機会を提供

国際経験が豊富な教員による指導と個別相談

国際経験豊富なプログラムアドバイザーが学習の早い段階から個別相談できるオフィスアワーを定期的に設置し、プログラム参加者が早期に自身のキャリアイメージを形成していくことを支援します。「英語を使った仕事をしたい」という漠然としたイメージから、具体的なキャリアイメージへつなげ、その実現のための準備を一緒にしていきましょう。



MESSAGE

グローバル世界の進展につれて、国際社会と接点のある業務はさらに拡大することになり、これに対応できる人材がますます重宝されるようになります。皆さんもチャレンジしましょう! 将来がさらに開けます。

小西淳文 特任教授

<経歴> 開発社会学を学びJICA、外務省に。ザイール、セネガル、ベナンでの滞在計10年。他にも約40か国に出張経験あり。

ADVICE!

4年間のカリキュラムイメージ



2022年度 PICK UP 授業



PICK UP 01

トップスクールセミナー (国内留学体験)

現在、対面授業としての実施を予定していますが、渡航制限・入国規制により、海外からのオンライン授業として実施する可能性があります。最新情報はOh-o! Meijiで確認してください。



過去にトップスクールセミナーを担当した教員の所属大学、所在国、専門分野 (一例、国名順)

- インドネシア大学 (インドネシア)**
東南アジアをめぐる国際関係
- ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院 (英国)**
欧州の金融システムと経済問題
- オタワ大学 (カナダ)**
ポストケインズ派経済学入門
- 西シドニー大学 (豪州)**
日本をめぐる国際関係
- タマサート大学 (タイ)**
グローバル公共政策とガバナンス
- カリフォルニア大学バークレー校 (米国)**
環境政策、公共衛生学

春学期

PARIBATRA, M.L. Pinitbhand
(パリバットラ, ピニットバン) 先生

所属大学
タマサート大学 (タイ)

専門分野
東南アジア諸国の国際関係論および対外外交政策、比較外交政策

秋学期

MCGUIRE, Matthew John
(マクガイヤー, マシュー・ジョン) 先生

所属大学
西シドニー大学 (オーストラリア)

専門分野
文学と国際関係論、紛争研究等

東南アジア諸国の政治について、各国の内政と地域内、さらにはアジア太平洋地域における国際関係を絡めながら、その歴史と現状その問題点について講義を行います。

紛争に直面した人間の心情や、紛争後の復興過程のエピソードを様々に取り上げて講義を行います。

トップスクールセミナー紹介ページ
▶ <https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/original/seminar.html>

詳しくはこちらから!

PICK UP 02

就業力育成総合講座B / 小西淳文先生

講義を通して、今の自分を見つめなおす機会、自らの将来について深く考える機会を得ることが出来ました。

様々な場で活躍する方からお話をいただける機会をいただき、本当に興味深いお話ばかりで毎週楽しみにしていました。

講師 (JICA職員、外務省員としての経験あり) による講義と意見交換に加え、様々な組織の一員として国際社会で活躍される方々10名を外部講師としてお招きし、各々の業務内容を紹介していただくとともに、学生時代に取り組んでいたことなど、貴重なアドバイスを得る授業としてしています。国際社会での活躍を検討している皆さんがその実現に向けた課題を整理し、実践できることが目標です。

- 授業内容 [予定]**
- 国際社会で活躍できる職業の概要説明
 - JICA在外事務所企画調査員による講義と意見交換
 - 開発系一般財団役員による講義と意見交換
 - 外務省員による講義と意見交換
 - JICA職員との意見交換
 - JICA職員による講義と意見交換
 - JBC職員による講義と意見交換
 - 開発系NPO職員による講義と意見交換
 - 外務省在外公館専門調査員による講義と意見交換
 - JOCV経験者による講義と意見交換
 - 国際連合職員による講義と意見交換
 - 国際機関職員による講義と意見交換
 - 開発系コンサルタントによる講義と意見交換



PICK UP 03

ACE Academic Training

グローバルキャリア形成プログラムを修了するにあたり、必修科目となっています。

ACE Academic Trainingは、海外大学における英語での授業環境をシミュレーションしながら、上級レベルの学生が海外大学または同水準のプログラムで学ぶことができる力を育成することに重点を置いています。通常のACEの授業よりも難易度が高く、海外大学で要求されるレベルの英語の読み書き、講義やディスカッションへの参加に必要なスキルを身につけます。具体的には、アカデミック・ライティング、基本的な研究論文の書き方、引用、校閲、ピア・エディティングなどの概念だけでなく、講義メモの取り方、アクティブ・リスニングの方法についても学んでいきます。加えて、ディスカッションやディベートへの参加、研究成果のプレゼンテーションを通じてスピーキング・スキルにも磨きをかけていきましょう。



2022年度開講 GCDプログラム科目

科目区分	科目名	備考	単位数	修了要件単位数	
外国語科目	ACE Content-based Study		1単位	6単位	
	ACE General Communication Skills		1単位		
	ACE Exam Skills		1単位		
	ACE Multimedia Independent Study		1単位		
	ACE Presentation Skills		1単位		
	ACE Academic Training		1単位		
外国語科目	ドイツ語IV		1単位	2単位	
	フランス語IV		1単位		
	中国語IV		1単位		
	スペイン語IV		1単位		
	留学による認定科目				
	グローバル人材育成プログラム科目	詳細は別紙「GLOBAL NAVI 2022」参照			
国際関係科目	海外留学演習 I~IV		各2単位	18単位	
	国際政治学	国際政治系パッケージ科目	4単位		
	国際関係史	国際政治系パッケージ科目	4単位		
	アジア政治論	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	アメリカ政治論	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	ラテンアメリカ政治論	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	アフリカ政治論	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	ロシア政治論	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	東欧政治論	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	国際法A	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	国際法B	国際政治系パッケージ科目	2単位		
	比較政治論	国際政治系パッケージ科目	4単位		
	比較政治論 (東アジア)	国際政治系パッケージ科目	4単位		
	日本・アジア地域論A~D	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	日本・アジア文化論A~D	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	ヨーロッパ地域論A~E	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	ヨーロッパ文化論A~E	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	アメリカ地域論A~D	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	アメリカ文化論A~D	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	連環地域文化論A~D	国際政治系・国際経済系パッケージ科目	各2単位		
	国際経済学	国際経済系パッケージ科目	4単位		
	経済地理学	国際経済系パッケージ科目	4単位		
	開発経済学	国際経済系パッケージ科目	4単位		
	国際経済政策	国際経済系パッケージ科目	4単位		
	国際金融論	国際経済系パッケージ科目	4単位		
	身体文化論	国際地域・文化論コース科目	2単位		
	スポーツ文化論	国際地域・文化論コース科目	2単位		
	表象文化論	国際地域・文化論コース科目	2単位		
	民俗学A	国際地域・文化論コース科目	2単位		
	民俗学B	国際地域・文化論コース科目	2単位		
社会人類学A	国際地域・文化論コース科目	2単位			
社会人類学B	国際地域・文化論コース科目	2単位			
異文化ビジネス論概論	国際地域・文化論コース科目	2単位			
実践異文化ビジネス論	国際地域・文化論コース科目	2単位			
その他教授会で認定した科目					
外国語実施科目	Top School Seminar科目		各2単位	8単位	
	教養演習IA・IB/II A・II B	※外国語で実施する科目のみ対象	各2単位		
	教養演習IC/II C	※外国語で実施する科目のみ対象	各4単位		
	【英語による講義科目】	※国際教育プログラム科目・大学院科目含む			
	政治学特殊講義B	塚本崇	2単位		
	日本政治文化論	ブルチャー, ミハヤエル	2単位		
	日本政治思想史	ブルチャー, ミハヤエル	2単位		
	マスメディア論	杉田弘毅	2単位		
	メディアと世論	杉田弘毅	2単位		
	比較政治論 (東アジア)	塚本崇	4単位		
	アジア政治論	塚本崇	2単位		
	経済政策特殊講義E	小西淳文	2単位		
	経済政策特殊講義F	小西淳文	2単位		
	国際文化特殊講義E	ネルソン, リンジー	2単位		
ヨーロッパ地域論E	佐原徹哉	2単位			
合計			34単位		

